

水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第20号
2023年12月5日

目標 100%

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が進んでいます！

笠間市立岩間第三小学校では、学校運営協議会が中心となって「三小こども祭り」を開催しました。これは、コロナ禍を受け廃止となった学校行事を同協議会が引き受け、地域コミュニティとともに子供たちや地域の方々の笑顔のために開催したイベントです。まさに、学校を核とした地域創生のモデルとなる活動でした。



「地域とともにある学校」への転換



水戸市の石井浩司社会教育主事が実践発表を行ったコミュニティ・スクール全国大会が茨城県で開催されたこともあり、県内の設置率も徐々に高くなってきています。

ひたちなか市では渡邊秀幸社会教育主事が、先行している他市の実践を自分たちの協議会に取り入れようと他市と連携した研修会を開催しました。

大洗町では、学校運営協議会の円滑な運営に向けて部実社会教育主事が保護者・社会教育委員等も巻き込んだ研修会などを企画しました。常陸大宮市や城里町でも来年度の新たな設置に向けて協議を重ねているところです。

子供たちの明るい未来のため、地域と学校が一体となって特色ある学校づくりができるように、水戸教育事務所管内において、コミュニティ・スクール100%導入に向けてご協力をお願いします。



CS全国大会での発表



ひたちなか市



大洗町

関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会

誰一人として取り残さない社会を目指して！

10月28日(土)、リニューアルされた水戸市民会館を会場に関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会が開催されました。今回は、「ウェルビーイングの実現に向けたこれからの生涯学習・社会教育」というテーマで、子供たちの健全な成長を願って取り組んでいる近県及び県内の9団体が発表を行いました。

小美玉市の「住みよい堅倉地区をつくる会」は、学校を核とした地域づくりをめざし、学校・保護者・地域が連携した防災教育について発表を行いました。防災に向けた協力体制づくりや質の高い体験型の防災教室の実践について「持ち帰って参考にしたい」「地域一体型で活動できる結束力がすごい」等の感想をいただきました。その他、不登校支援活動や家庭教育力の向上をめざした取組、市全体での子ども食堂を活用した居場所づくりの取組等、様々な視点からの発表は、まさに誰一人として取り残さない社会づくりの道標になったことと思います。コミュニティ・スクールの導入も進み、ますますこのような取組が県内各地で見られるようになることでしょう。

来年度は、社会教育委員の全国大会と共催で水戸市民会館において開催される予定です。先生方もお時間がありましたら、ぜひご参加いただき、全国の方々と交流してみたいかがでしょうか。

